

宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎建設
基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル

審査結果報告書

令和元年 9 月

宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎建設
基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル

評価委員会

1 本プロポーザルの経緯

(1) 概要

庁舎建設は公共事業であり、適切な設計者の選定は本連合の責務です。従って、応募者に対しては公正かつ厳格な参加条件（信頼できる組織体制、各種の資格、一定の実績等）を求め、多くの優れた設計者の中から業務委託先を選定できる「公募型プロポーザル方式」を採用し、選定の作業を進めてきました。

(2) 宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル評価委員会

令和元年7月に「宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎建設基本設計・実施設計公募型プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）」を設置し、連合長より委嘱を受けた下記の10名の評価委員により選定のための審査を行うこととしました。

<評価委員会委員>

委員長	田中 智之	熊本大学大学院先端科学研究部教授
副委員長	谷崎 淳一	宇土市副市長
委員	浅井 正文	宇城市副市長
委員	吉住 慎二	美里町副町長
委員	甲斐 裕美	宇土市建設部都市整備課技術総括
委員	西浦 望	宇城市総務部公共施設マネジメント課営繕係長
委員	水口 雅晴	宇城広域連合事務局長
委員	坂本 勝夫	宇城広域連合消防長
委員	蔵原 正敏	宇城広域連合消防次長
委員	島松 一步	宇城広域連合消防本部警防課長

(3) 募集及び審査の進め方

No.	内容	日程
1	本要領等の公表	令和元年7月1日（月）
2	質疑の受付締切	令和元年7月10日（水）午後3時まで
3	質疑への回答（HP）	令和元年7月17日（水）まで
4	参加表明書の受付締切	令和元年7月22日（月）午後3時まで
5	一次審査結果の通知	令和元年7月31日（水）までに発送
6	技術提案書の受付締切	令和元年9月2日（月）正午まで
7	プレゼンテーション及びヒアリング	令和元年9月18日（水）
8	二次審査結果の通知	令和元年9月27日（金）まで
9	二次審査結果の公表	令和元年9月27日（金）
10	契約予定時期	令和元年10月初旬

(4) 一次審査

参加表明書の提出期限である令和元年7月22日までに、応募者5者から参加表明書等の提出がありました。

この提出された書類について、プロポーザル実施要項、プロポーザル評価要領等に基づき、事務局で参加資格要件の確認及び採点を行い、令和元年7月29日までに評価委員会において採点結果の審査を行いました。

審査の結果、参加表明のあった応募者5者のうち上位3者を、プレゼンテーション及びヒアリング審査の対象者として選定しました。

(5) 二次審査

プレゼンテーション及びヒアリング審査対象者として選定された3者から令和元年9月2日までに技術提案書等の提出があり、令和元年9月18日にプレゼンテーション及びヒアリング審査（二次審査）を行いました。

審査の内容については、業務実施方針及び各提案テーマについて、各委員が計画性、妥当性、適確性及び信頼性等の観点から評価しました。

プレゼンテーション及びヒアリング審査終了後に、評価委員会による最終審査を行い、最優秀者及び次点者を選定しました。

<技術提案内容>

- ・業務実施方針
- ・提案テーマ1 災害活動拠点として災害に強く持続可能な庁舎
- ・提案テーマ2 訓練活動拠点としてあらゆる災害に対応できる訓練が可能な庁舎
- ・提案テーマ3 住民への啓発拠点として火災予防や救急講習、体験型の消火や避難訓練ができる庁舎
- ・提案テーマ4 人と環境にやさしい庁舎

2 審査結果

応募者名	総合得点
B社	214.0点
D社	193.4点
E社	145.7点

最優秀者： 株式会社 太宏設計事務所

次点者： 株式会社 桜樹会・古川建築事務所

3 審査講評

宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザルは、一次審査と二次審査の2段階にて行われました。

一次審査では、5者から参加表明書の提出があり、提出された書類について、プロポーザル実施要領、プロポーザル評価要領等に基づき、事務局にて参加資格要件の確認及び採点を行い、評価委員会において採点結果の確認及び審査を行いました。その結果、5者のうち上位3者を二次審査の対象として選定しました。

二次審査では、提出された技術提案書の内容、それに基づくプレゼンテーション及びヒアリングについて、10名の委員による評価が行われました。評価は業務実施方針と4つの個別提案テーマに沿って、計画性、妥当性、適格性、信頼性等を総合的に判断し、採点されました。

この採点に基本設計・実施設計業務コストの採点を加算することで二次審査評価点とし、さらに一次審査の評価点と総合し、総合評価点を計算しました。その総合評価点の高い順に最優秀提案者及び次点者を選定しました。

『ふだん～もしもの時も「頼れる消防署」をめざします』と題された最優秀提案者の提案は、施設全体の配置や動線の考え方、災害活動拠点に必要な構造・設備・建物性能の提案、多種多様な訓練に対応できる訓練施設の構成、研修会や普及啓発に関する施設の柔軟性、人と環境にやさしい庁舎づくりなど、それぞれのテーマに関する的確な考え方ときめ細やかな提案が高い評価を受け、総合的に最優秀であると判断されました。特に地域に親しまれる防災拠点につながる視認性の高い施設構成や配置、安全・安心の要となる地域の防災拠点としての信頼性のある構造計画や柔軟性を持った訓練施設等に関する評価が高く、その具現化が期待されます。今後設計を進める上で、十分な対話によるコミュニケーションや、地盤調査等に基づく的確な構造耐震計画、防災拠点としての十分な造成計画や排水計画に関する検討を求めます。

次点者の提案は『「災害に強い安心・安全なまちづくり」推進のための防災拠点となる新庁舎を実現します』と題され、まちに大きく開いた配置計画、低層でコンパクトかつ機能的な施設構成など高い評価を得ましたが、最優秀者には一歩及びませんでした。

今回の審査結果が、宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎耐震建設基本計画の実現に結びつくことを祈念いたします。また最後に、本プロポーザルに参加された皆様におかれましては、貴重な時間を費やし真摯に努力いただきましたこと、審査員一同より心から御礼申し上げます。

令和元年9月18日

宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎建設
基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル評価委員会
委員長 田中智之